



©中央共同組合

社協だより

47号

平成26年1月1日

《発行》社会福祉法人 八幡浜市社会福祉協議会 八幡浜市松柏乙 1101 番地

八幡浜市保健福祉総合センター2階 TEL 23-2940 FAX 23-0506

ホームページは [八幡浜市社協](#) まで

お互いをほめあっている場面「先生、男前！」



子育てサロン研修会を開催 よりよい関係を育む魔法の言葉

平成25年11月5日(火) 13時30分から15時30分、みなと交流館において、子育てサロン研修会「子どものやる気を引き出す魔法の質問セミナー」を開催しました。(主催 八幡浜市社会福祉協議会) 子育てサロンのお世話人さんなど22名に参加していただきました。

研修では、円滑で心地よいコミュニケーションについて学びました。笑いがおこり、ときには「ほっつ」と感心する声もあがりました。

◇参加者の声◇

「子どもにも、大人にも、自分にも、相手にも、いいところ」目をむけることが大切」

「親は子に対して質問ではなく尋問になりがち。そこを見直そう」

「相手のことを考えて」コミュニケーションを図りたい」

「言われたらうれしい言葉は心にとめて人と接していきたい」

(お問い合わせ…)

市社協 23-2940

魔法の質問キッズ認定講師 田所志郎氏にお話をいただき、ワークショップに取り組みました。親子・家族の間ではつい感情的になって言いすぎてしまうことがありますか。

新春 八幡浜市社会福祉協議会会長インタビュー

社会福祉協議会の活動は

「お互い様」「助け上手・助けられ上手」を
地域に根付かせていくこと



社会福祉法人 八幡浜市社会福祉協議会 会長 菊池清之(きくち きよゆき)氏

昭和11年生、八幡浜市松柏出身。千丈小学校・松柏中学校・八幡浜高等学校卒業後、八幡浜市役所に奉職。千丈地区公民館長、千丈地区社会福祉協議会会長を経て、平成19年より現職。八幡浜市バレーボール協会を立ち上げ、子どもや保護者からは「じいじいコーチ」と慕われている。

趣味は「体を動かすこと」

座右の銘は「辛抱することで、新望がみえてくる」

八幡浜市社会福祉協議会会長として大切にしていることは「思いやり・気配り・笑顔」

—市民の皆様にご挨拶をお願いします—

市民の皆様、明けましておめでとうございます。日頃より、社会福祉協議会の取り組みにご理解とご協力をたまわり、深く感謝申し上げます。新年も「すこやかな心ふれあう思いやりのあるまちづくり」の基本理念に沿い、皆様のお力添えを仰ぎつつ、役職員一同結束して職務の遂行に全力を傾ける所存でありますので、よろしくお願い致します。

—平成25年をかえりみて—

本会は地域の福祉活動の支援や介護保険事業・障害福祉サービスの実施、養護老人ホームの運営等に取り組んでいます。職員数は百名をこえました。社会福祉協議会の目的である「地域福祉を推進する」ことに主眼をおき、効果的な職務遂行のため、総務福祉課を総務課と地域福祉課に再編し、本会の基盤整備の強化に努

めました。

また、八代中学校と本会とが協働した福祉教育の実践、福祉の財源確保とつながりづくりのためのチャリティーパーティーの開催、成年後見制度の利用支援・普及活動を目的とした権利擁護センターの受託など新しい地域福祉活動に取り組んできました。

—今年の重点項目は—

昨年から引き続き、本会の基盤整備の強化に努めていきます。そのためには理事会・評議員会により一層の活性化を図り、役員間連携を大切にしていきます。また、介護保険法や障がい者総合支援法、生活困窮者への取り組み等目まぐるしく制度が整備・改正され、不安に感じられる方もおられると思います。そのような社会情勢の中、本会は平成23年度に策定した「やてや活動計画」(地域福祉活動計画)の評価・見直しを

行い、ニーズの発見・市民の生活課題へ対応できる仕組みづくりに取り組んでいきます。この評価・見直しについては、多くの市民の皆様に参加していただくこととなりますので、よろしくお願ひします。

—会長が目指す社会福祉協議会についてお聞かせください—

本会には、介護福祉士や介護支援専門員、社会福祉士といった沢山の専門家がいますが、その活動にはやはり限界があります。市民の皆様がよりよく暮らすためには、一つの組織や制度では解決できない、複雑な課題が地域には山積しています。そのため、今まで長年に渡り、良好な関係を築いていただいている、市民の皆様、ボランティアさん、民生児童委員さん、地区社会福祉協議会、行政等皆様の活動に感謝しながら、より一層の連携・協力・協働を推進する必要があります。

「お互い様」「助け上手・助けられ上手」の意識を地域に根付かせ、オーダーメイドの地域福祉を推進することが、社会福祉協議会の活動です。本会の多くの事業にこのことを反映させていきたいと思ひます。

地域福祉の推進は、「社会福祉協議会もがんばる！地域住民もがんばる！共に歩んでいく。パートナーとして」が基本になると考えています。皆様、よろしくお願ひ致します。



特集 木村謙児さんが伝えるボランティア活動



ふだんの暮らしの中で
助け合うことのできる
ボランティア活動
を目指す

木村 謙児(きむら けんじ)氏

昭和30年生、旧三崎町出身。八幡浜高等学校・関西大学卒業後、八幡浜市内の企業に入社。
昭和57年八幡浜市VYS連絡協議会会長就任。昭和63年八幡浜市ボランティア協議会会長就任。
平成14年保護司拝命。平成25年よりみなと交流館館長・愛媛県ボランティア連絡協議会会長就任。
座右の銘「真実一路」 好きな言葉「人はそれぞれに、それぞれの花が必ず咲く」
特技「絵をかくこと」「子どもとコミュニケーションを上手に図れる」「会えば仲良しになれる」

平成25年11月23日(土)から11月24日(日)全国ボランティアフェスティバル高知―時代を拓く市民力(シチズンパワー)ぜよ―(主催 第22回全国ボランティアフェスティバル高知実行委員会・全国社会福祉協議会)が盛大に開催されました。全国各地から1,300名をこえるボランティアさん・スタッフが集結しました。開会式では、八幡浜市ボランティア協議会会長 木村謙児さんが八幡浜市民として初となるボランティア功労者厚生労働大臣賞を受賞されました。

―ボランティア功労者厚生労働大臣表彰受賞おめでとうございませ―

ありがとうございます。ボランティアという言葉が定着していない頃から活動に取り組まれた諸先輩方、共に活動を作り上げてきた

仲間や各団体の皆様、新しいボランティアの風を起こしている後輩の皆様全員でいただいたものであると感じています。これまでも、全国ボランティアフェスティバルに参加し、時代の流れを感じ、新たな発見と元気をいただきました。

高知は志士の国、歴史を切り開いた熱い国で、このボランティアフェスティバルもまさに高知流でユニークだったなあと感じました。

表彰を受けて感じたおもしろい。

私は様々な場で裏方をする役割が多いので…。あらためて表彰されるということにとても緊張感がありました。開会式も高知流で、受賞する代表者がはじめから登壇していたのでより緊張感が高まりました。私の隣には高知県 尾崎知事がおられ、お話もさせていただきました。オーラいっぱい・魅力いっぱいの人でした。

八幡浜市においても、地域福祉

の課題が様々あると感じています。その解決に向けて、計画的にボランティアを推進しなければならぬこと、ボランティアを次の時代（世代）につないでいかなければならない使命感と責任感を強く感じました。



厚生労働大臣賞を受賞された木村さん（写真右）

―今、夢中になっていることは―
 仕事に尽きますかね。企業退職後、四月よりみなと交流館館長をさせて頂いています。今まではボランティア活動を通じて、地域福祉活動の推進に一翼を担ってきましたが…。今は仕事として多くの人と組織の中間支援をさせてもらっているのです。責任感とプレッシャーをひしひしと感じています。でも仕事やボランティアを通じてできた仲間がいまです。ので、頑張りたい、頑張りきらなければならぬと思っています。

―初めてボランティアをされたときの思い出を教えてください―

私は小さい頃、小児ぜんそくを患っていて体が丈夫な方ではありませんでした。当時、VYSの高校生が『わたり鳥』という活動で

三崎に来ていた時、そこに参加しました。ゲームや紙芝居がとても楽しく感動したという思い出を抱き続けていました。高校生の頃、VYSの活動に誘われ、八幡浜学園に伺いました。知的障がいをもつ児童とふれあうのは初めてで、正直戸惑いました。でも、私は子どもとコミュニケーションを図ることが好きだったこと、八幡浜学園の先生たちが知的障がいの特性やコミュニケーションの方法等を丁寧に指導してくれたこと、知的障がいをもつ児童がボランティアを受け入れてくれ共に楽しめたこともあり、2度目の訪問から戸惑いはなく何うのが楽しみになりました。私たちボランティアが関わること、児童が、八幡浜学園が、地域が変わっていく体験は何物にも代えがたいものでした。児童が浴衣を着て、八幡浜学園内で夜市を毎年していました。児童とボラ

八幡浜ボランティア協会
設立25周年記念式典



ボラ協 25 周年記念式典では盲導犬への理解を

ンティアと八幡浜学園の間に信頼関係があると強く実感したことを覚えていきます。ふりかえれば、今日の私にとってボランティア活動の基礎は八幡浜学園にあったとふりかえることができます。

— ボランティア活動を長く続けて

こられた秘訣は —

大学を卒業後、地元企業に就職

致しました。休日を利用して八幡浜学園に足を運んだり、子供会等をしていると、仕事とは違う充実感と素の自分を出せることで、リフレッシュでき、自己の成長を感じることができました。ボランティアに共に取り組む仲間がいて、苦労もありましたが、充実した時間を過ごすことができました。

— ボランティア活動を続けてきて

どのような変化がありましたか —

ボランティア活動は本当に楽しい。ただ、楽しいことだけではなく、団体間の連携や課題解決のためには、地域外に出て情報を入手し、そこに気づきと学びを受けたことが大きな変化だったと思います。

— 昭和63年9月に発足した八幡浜

市ボランティア協議会の活動で印

象に残ることは —

会の発足当時、30代の私を会長に選んでいただいた八幡浜の関係者の皆様の懐の深さが心に残っています。

平成元年から毎年テーマをもって取り組んでいる福祉のつどい、どの回も印象に残っています。

平成5年9月北条ひまわり号の来浜（JRを利用）では、心身に障がいをもつ方・介助者約300名を八幡浜市ボランティア協議会や関係機関でおもてなしてきたことが印象的です。当時の介助者の方とお話する機会がありました。八幡浜市民のパワーと温かさを感じたと昨日のことのように語ってくれました。

— ボランティアの定義とは —

難しい質問ですね…。人それぞれに違いがあります。おもしろいやりの心をもって、自分のできることを少しでも地域や周りの人達が良

くなるように動くこと。究極のところ、ボランティアという言葉がなくなり、日常生活の中で、自然に助け合いが展開されていく地域を目指したい。

— これからのボランティアは —

ボランティアは自分の意思で、自由に選び、いつでも始めることができるし、やめることもできる。楽しさややりがいを実感することでまた頑張れる。それがボランティア活動の基本だと思います。さらに、これからのボランティアは活動に対して責任をもち、その役割を果たすことが求められていると感じます。そのためにもボランティアが自身の活動や目的をふりかえること、研鑽することも必要だと思います。ボランティアは成熟した市民社会を構築する上で、重要な地域福祉の担い手である時代になっていますので、ボランティア

協議会や社会福祉協議会の連携は今後も必要だと感じています。

「これからボランティアをやるう
と考えている人へのメッセージ
を」

ボランティアについては、いろんな機会があり、さまざまな情報があります。とにかく、福祉のつどいや障がい者の方々とうれあうスポーツ大会などに気軽に参加して、いろんなことを感じてほしい。そして、一緒に活動できればうれしいかぎりです。ともによりよい地域づくりのために、いつでもお待ちしております。大歓迎です。

8名の精神保健ボランティア養成 講座修了生が誕生しました！

平成25年11月14日(木) 13時

30分から16時まで、ゆめみかんにおいて、精神保健ボランティア養成講座(主催 八幡浜市社会福祉協議会)の閉講式を行いました。平成25年8月より、13名の受講生は講座6回、体験学習2回に取り組みました。体験学習は王子共同作業所やデイケア等に伺い、当事者の方とコミュニケーションを図りました。修了証書は8名の方にお渡しできました。

その後、修了生と精神保健ボランティアはまかせとの交流会が開催されました。はまかせ 入口会長からはまかせ誕生の経緯や現在の取り組みをパワーポイントで説明がありました。はまかせは平

成6年度、八幡浜市社会福祉協議会主催の精神保健ボランティア終了者23名が集い結成しました。

①心の病について理解を深める、
②精神障がい者の社会参加を進める、
③市民の心の健康を増進することが目的です。会員数は57名、活動内容は病院や施設の盆踊りや文化祭・もちつき交流会のお手伝い、当事者とボランティアとの交流会・イベントの開催、はまかせ便りの発行など幅広い活動・支援を行っています。また、はまかせ後藤さんからは、毎週第3水曜日に取り組んでいるすいせんクラブについて紹介があり、ステキなエピソードなどをお話していただきました。

◇修了生の声◇

「心の健康、精神障がいについて正しく知ることが大切だと気付いた」

「当事者の方の体験発表を聴いて、胸をうたれ、心があつくなりました」



平成25年度
八幡浜市

社会福祉大会

と き 平成26年1月25日(土)
場 所 八幡浜市民会館 大ホール

本大会は誰もが安心して暮らせる地域づくりの実現にむけた活動に、一人ひとりが考え参画する機会とし、あわせて、これまで八幡浜市の社会福祉の発展に貢献された方々を表彰し、感謝の意を表します。

12:00	受付
13:30	式典 表彰・感謝状の贈呈 等
14:30	記念講演
16:00	閉会

入場は無料です

公共交通機関のご利用をお願いします



記念講演 『介護の達人は人生の達人』
講師 小谷 あゆみ さん

フリーアナウンサーとして「ハートネットTV ☆介護百人一首」「楽ラクワンポイント介護」(NHK Eテレ)にレギュラー出演中。エッセイストとして「畜産コンサルタント」(中央畜産会)に連載中。

市民後見人 養成講座 基礎編

認知症や知的障がい、精神障がい等により判断能力が低下した方のために、法律で定められた代理人が財産の管理や法的な手続き等の身上監護を行う成年後見制度があります。その新たな担い手として「市民後見人」の養成を開催致します。まず

はご自身のため、ご家族のために受講してみたいかがですか。すべての科目を修了しご希望される方は、後見人材バンクに登録していただき、八幡浜市社会福祉協議会で行う法人後見事業の支援員として実務経験を重ねていただきます。

- ◆開催日時 平成26年2月8日(土)、2月15日(土)、
2月22日(土)、3月1日(土)、3月8日(土)
13時~16時までを予定しています
- ◆定員・受講料 定員20名 受講料は無料(八幡浜市による委託)
- ◆会場 みなと交流館/八幡浜市保健福祉総合センター
- ◆お申込み先 社会福祉法人 八幡浜市社会福祉協議会地域福祉課
〒796-0010 八幡浜市松柏乙1101番地
0894-23-2940
- ◆その他 カリキュラムの詳細は本会のホームページで確認できます
ご希望の方はカリキュラムを郵送いたします